

(25)博物館学芸員専門講座

平成 25 年 12 月 6 日 (金)

**ニューヨークのアクセス・プログラム
—メトロポリタン美術館の事例を中心に—**

国立西洋美術館学芸課教育普及室

横山佐紀

はじめに

1. メトロポリタン美術館のアクセス・プログラムの概要

- (1) MET 教育部内の位置づけおよびスタッフ
- (2) アクセス・プログラムの根拠と目的

2. MET で行われているプログラムの紹介

- (1) 視覚障害者を対象とするプログラム
 - ①日時が決まっているもの (グループ・プログラム)
 - ②日時が決まっていないもの (個人、もしくはごく少人数向けの個別ツアー)
 - ・個人のツアーのケース
 - ・学校の少人数ツアーのケース
 - ③セルフガイド『エジプト美術ツアー』セット
- (2) 認知症 (高齢者) を対象とするプログラム (日時が決まっているもの)
 - ①ギャラリー・トークのもの
 - ②タッチ・コレクションを使うもの

3. 「ことばによる記述 Verbal Description」の紹介

4. プログラム内容について留意すべき点

おわりに—私たちへの示唆

- ・さまざまな感覚を使う
- ・余裕のあるプログラム構成と、きめ細かい対応の必要性
- ・ネットワークの重要性
- ・「ことばによる記述」の可能性